


<p>【氏名】 宇田川 元一 東京都出身、1977年生</p>	
<p>【現職】 埼玉大学大学院人文社会科学研究科 准教授 法政大学イノベーション・マネジメント研究科 兼任講師</p>	
<p>【学生へのメッセージ】</p> <p>学術的な知見と企業へのアドバイザーとしての経験を元に、アカデミックかつプラクティカルな知をみなさんと共創していきたいと思っています。</p> <p>今の日本の企業社会は、長い停滞の中にあります。その中で、私たちはどこかにそれを解決する良い方法はないかと探しているかもしれません。しかし、そんなに都合の良い方法もなければ、都合の良い問題もありません。</p> <p>私は、経営戦略論や組織論の研究を通じて、「対話」を重ねて組織を動かしていくことこそが、遠回りのようで、実はイノベーションを生み出していく上で最も良い道なのではないかと考えるに至りました。是非ともに、明日の日本の社会を創っていく現実的な一歩目を歩みだしたいと思います。よろしくお願ひします。</p>	
<p>【専門分野】 経営戦略論、組織論</p>	
<p>【担当科目】 経営組織論</p>	
<p>【主な経歴】</p> <p>学歴</p> <p>2000年 立教大学経済学部卒業</p> <p>2002年 立教大学大学院経済学研究科経営学専攻博士前期課程修了（修士（経営学））</p> <p>2006年 明治大学大学院経営学研究科経営学専攻博士後期課程単位取得退学</p> <p>職歴</p> <p>2006年 早稲田大学アジア太平洋研究センター助手</p> <p>2007年～2009年 長崎大学経済学部 講師・准教授</p> <p>2010年～2015年 西南学院大学商学部経営学科 准教授</p> <p>2016年～ 埼玉大学大学院人文社会科学研究科 准教授</p> <p>2020年～ 法政大学イノベーション・マネジメント研究科 客員教授</p> <p>2022年～ 法政大学イノベーション・マネジメント研究科 兼任講師</p>	
<p>【主な研究業績/社会的活動】</p> <p>【論文】</p> <p>宇田川元一(2021)「組織を変える対話とナラティブー持続的な変革に向けてー」『N：ナラティブとケア』第12号</p> <p>宇田川元一(2020)「組織のナラティブの溝に橋を架ける」『心と社会』第51巻、第2号</p> <p>宇田川元一(2018)「物語る経営学史研究」『経営学史学会年報』第25輯</p> <p>宇田川元一(2015)「言語システムとしての組織ーナラティブ・アプローチの組織論研究に向けてー」『経営哲学』第13巻、第1号</p>	

<p>宇田川元一(2015)「生成する組織の研究」『組織科学』第49巻、第2号</p> <p>宇田川元一(2009)「戦略が創られるとき—戦略論研究の新しいアジェンダに向けて」『経営情報学会誌』第18巻、第3号</p> <p>宇田川元一(2007)「経営戦略論研究の展開と課題—現代戦略論研究への学説史的考察から」『経営学史学会年報』第14輯</p> <p>【ビジネス・ケース】</p> <p>佐々木将人・宇田川元一・黒澤壮史(2021)「NEC 新事業開発を起点とした企業変革へのチャレンジ」『一橋ビジネス・レビュー』2021年冬号</p> <p>【著書】</p> <p>宇田川元一(2019)『他者と働く—「わかりあえなさ」から始める組織論』NewsPicks パブリッシング</p> <p>宇田川元一(2021)『組織が変わる—行き詰まりから一歩抜け出す対話の方法 2on2』ダイヤモンド社</p> <p>【コンサルティング アドバイス業務】</p> <p>国内大手製造業・サービス業やスタートアップ企業で、企業変革とイノベーション推進のアドバイザー業務も行っている。</p>
<p>【所属学会・団体】</p> <p>組織学会、経営学史学会、経営哲学学会</p> <p>Academy of Management, European Group for Organization Studies, Standing Conference on Organizational Symbolism</p>
<p>【資格・表彰】</p> <p>2007年度経営学史学会賞（論文部門奨励賞）</p> <p>HR アワード 2020 書籍部門最優秀賞（著書：『他者と働く』）</p>